

平成 19 年 11 月 16 日

各位

会社名 株式会社東京自働機械製作所
 代表者名 取締役社長 市川 孝
 (コード番号 6360 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役 前田 臣一
 (TEL 03-3866-7171)

(追加)「平成 20 年 3 月期 中間決算短信」の一部追加について

本日発表いたしました「平成 20 年 3 月期中間決算短信」の一部に、下記のとおり追加がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 追加箇所

3 頁 「(1) 経営成績に関する分析」の末尾に追加

2. 追加内容

(当期の見通し)

今後の見通しにつきましては、サブプライムローンの問題に端を発する世界経済の混乱や、原油その他資源の高騰など経済の不安定さが増してきており、日本経済の先行きも不透明感を強めてきております。包装機械業界におきましても、顧客の設備投資意欲が減退する懸念があり、今後の受注環境の変化は予断を許さないものと考えております。

このような状況下、包装機械部門は下期も引き続き主力の上包機群を中心に新包装形態の提案など活発な受注活動を行ない期初の目標を達成するべく営業活動を行なっていく所存であります。

生産機械部門におきましては、大型プロジェクトの受注が決定するなど、特定顧客向けの受注状況は堅調に推移しております。しかし、新規開発機の上市により開発コストの負担が下期にも予定されており、収益を圧迫する懸念があります。これらの要因を受け、通期業績見通しは、1 ページ「20 年 3 月期の連結業績予想」ならびに 2 ページ「20 年 3 月期の個別業績予想」に記載の通りであります。

なお、通期業績の見通しは、平成 19 年 10 月 26 日開示の業績予想と変わりありません。

(連結業績予想)

連結売上高	8,749 百万円	(前期比△24.9%)
営業利益	△18 "	(" -)
経常利益	79 "	(" △82.8%)
当期純利益	44 "	(" △67.8%)

(個別業績予想)

売上高	7,719 百万円	(前期比△24.1%)
営業利益	△118 "	(" -)
経常利益	△73 "	(" -)
当期純利益	△67 "	(" -)

【見通しに関する留意事項】

本資料における業績の見通しは、当社が発表日現在で入手可能な情報による判断、過程及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確定要因や潜在的リスク等によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

以上